

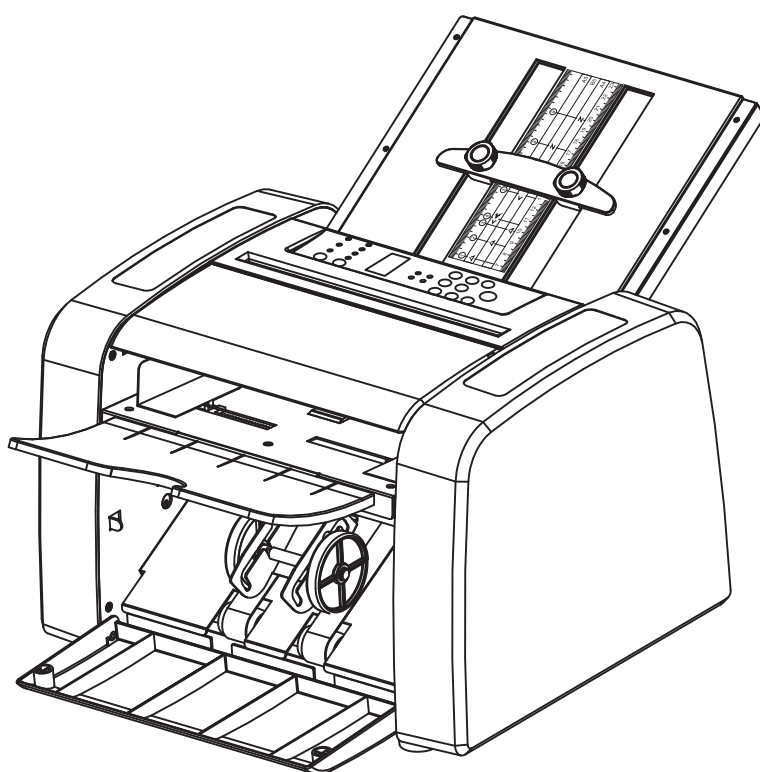
取扱説明書

NIPPO®

自動紙折り機 NP100

このたびは、ニッポー自動紙折り機NP100をお買い上げいただき、ありがとうございました。

安全にお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、この取扱説明書は、いつでもご覧になれるところに、大切に保管してください。



◎仕様

- 用紙サイズ : A5～A4
紙質 : 更紙～上質紙(60g/m²～90g/m²)
一部の更紙、アート紙、コート紙などは紙折りできない場合もあります。
- 用紙積載量 : 最大135枚(64g/m²の場合)
手差し枚数 : 最大3枚の重ね挿入可能
紙折り速度 : A4判上質紙二つ折り時 約80～100枚/分
排紙方式 : 整列排紙
電源 : AC100V 50/60Hz(消費電力:50W)
機械の大きさ : 収納時: 本体300(幅)365(奥行き)265(高さ)mm
使用時: 設置530(幅)365(奥行き)335(高さ)mm
重量 : 約10kg

付属品	
名称	個数
電源コード	1本
取扱説明書	1部
保証書	1部
L型六角レンチ	1個

安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前に必ず本書をお読みください。
また、本書はいつでもご覧になれる所に保管してください。

この説明書は、お客様やまわりの人への危害、生命の安全、または財産への損害を未然に防止するために、危険をとまなう操作やお取り扱いについて警告表示や注意表示をおこなっています。
内容をよくご理解のうえでお使いください。



警告

誤った取り扱いにより、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 電源は必ずプラグ部分を持って抜き差しをおこなってください。
感電や発熱による発火の原因になります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、延長コードの使用やタコ足配線はしないでください。
感電や発熱による発火の原因になります。
- 製品の分解や改造は、絶対にしないでください。
感電や発熱による発火、異常動作をしてけがをするなどの原因になります。
- 製品に水をかけたり、濡れた手で運転操作や電源プラグの抜き差しをしないでください。
感電の原因になります。
- 製品の移動やお手入れは、電源プラグ、紙折りテーブルを外しておこなってください。
紙折りテーブルの落下などによって思わぬけがをしたり、感電の原因になります。

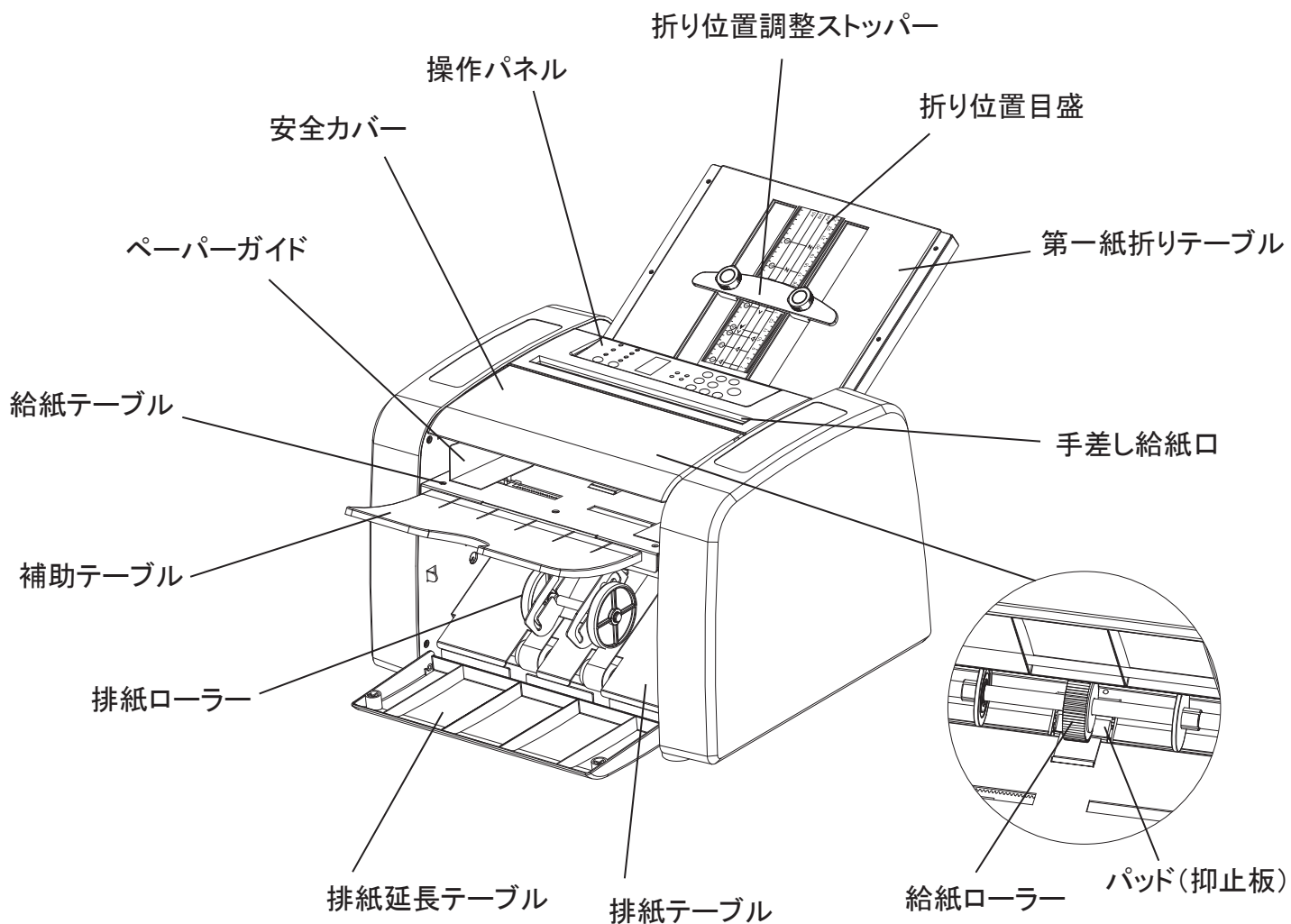


注意

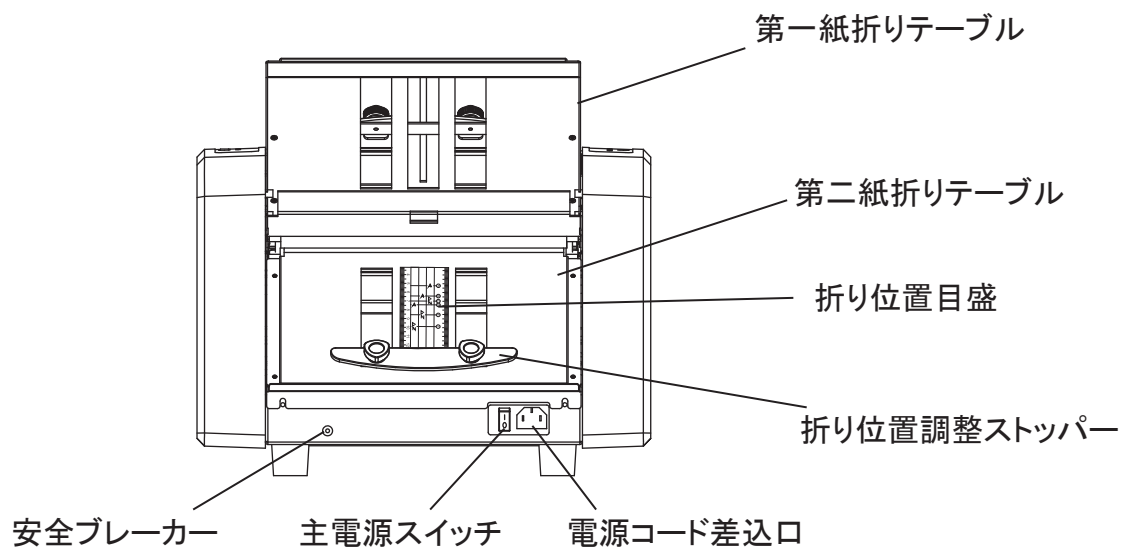
誤った取り扱いにより、人が傷害を負う可能性および物質的損害の可能性が想定される内容を示しています。

- 長時間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。プラグは傷めないように保管してください。
コードを引っ張ってつけたり、コンセントの差し込みがゆるんだりホコリが付いていると、感電やショートの原因になります。
- 紙折りをおこなっている最中は、紙折りローラーや紙折り途中の用紙に触らないでください。
ローラーの回転に巻き込まれて、思わぬけがをする場合があります。
- 紙折りテーブルを外した状態で電源を入れしないでください。
ローラーの回転に巻き込まれて、思わぬけがをする場合があります。
- 紙詰まりの解除や、紙折りローラーに近づいたり触ったりする場合は、必ず電源を切ってください。
急に動作を開始して、回転に巻き込まれたり、高速で移動中の用紙にぶつかったりして、思わぬけがをする場合があります。
- 動作中に、紙詰まりや異物によるロック状態や異常音が発生した場合は、速やかに電源を切ってください。
放置したままにしておきますと、本体の破損や寿命に影響したり、発熱したりして、思わぬ被害が発生する場合があります。
- 本体の設置は、十分な広さや強度の安定した机の上でおこなってください。
本体が落下してけがをしたり、本体を破損したりする場合があります。
- 本体は、強度のない机や不安定な机、せまい机、滑りやすい机に設置しないでください。
本体部品にぶつかって思わぬけがをしたり、本体部品を破損したりする場合があります。
- 本体の上に物を置いたり、本体の上に物を吊るしたりしないでください。
落下した物が、ローラーに巻き込まれて損害を与えたり、本体部品を破損したりする場合があります。
- 電源コードは同梱の物を使用し、本製品以外に使用しないでください。
- 直射日光の当たる場所や高温多湿の場所でのご使用は避けてください。
本体に影響を与えたり、紙折り動作ができなかったり、本体の寿命に影響を与えたりする場合があります。
- 精密機械の近くでのご使用や、ラジオ、テレビの近くでのご使用は避けてください。
電波障害により、周辺機械に影響を与える場合があります。

各部名称



● 本体背面



操作前の準備

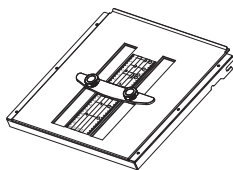
① 本体を梱包している緩衝材などを取り外してください。

梱包箱や緩衝材は、修理などで本製品を安全に輸送する際に必要となります。
大切に保管しておきましょう。

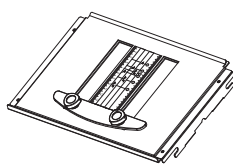
梱包内容の確認



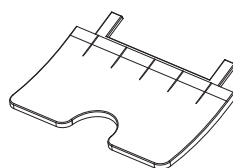
本体



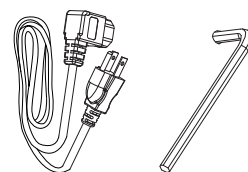
第一紙折り
テーブル



第二紙折り
テーブル



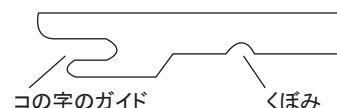
補助テーブル



電源コード/
L型六角レンチ

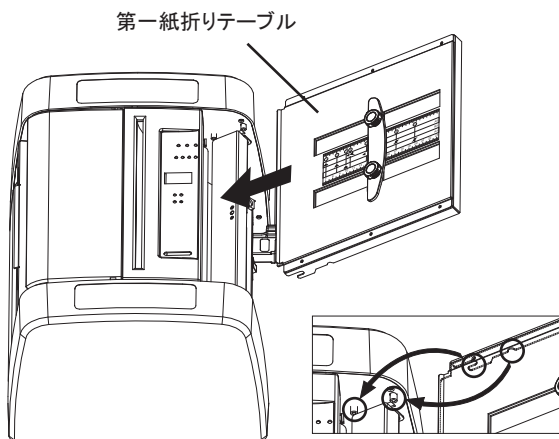
② 第一、第二紙折りテーブルを本体に取り付けます。

軸の位置を間違えないように、奥まで確実にはめ込んでください。
コの字のガイドに奥の軸を入れて、くぼみに手前の軸をはめる。

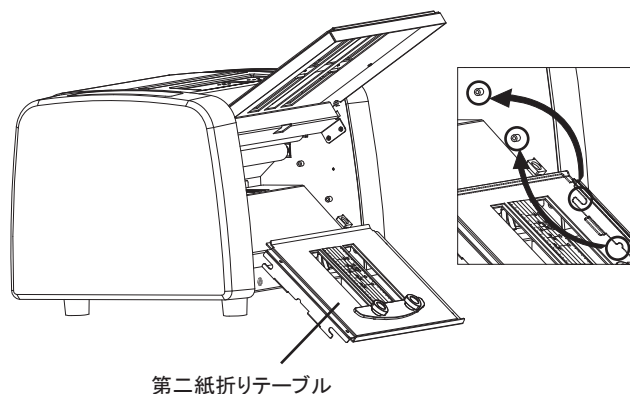


コの字のガイド

くぼみ

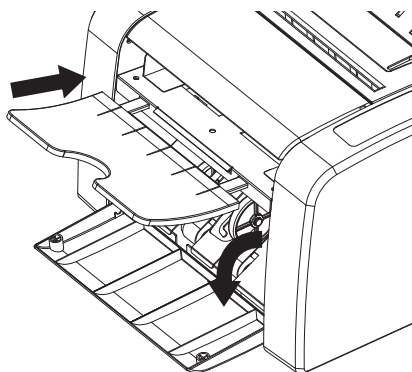


第一紙折りテーブル

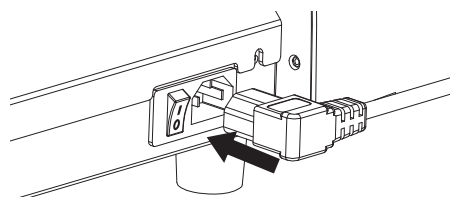


第二紙折りテーブル

③ 給紙補助テーブルを取り付けて、 排紙延長テーブルを開きます。



④ 主電源スイッチがOFFに なっていることを確認して、 電源コードをつなぎます。



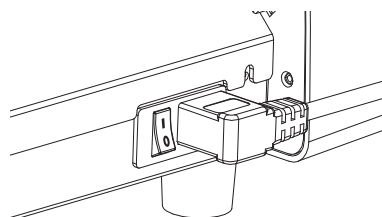
設定の手順

- 1.電源を入れます
- 2.用紙サイズを設定します
- 3.折り方を設定します
- 4.用紙をセットします
- 5.ストッパーを調整します
- 6.カウンターを設定します
- 7.紙折り開始します

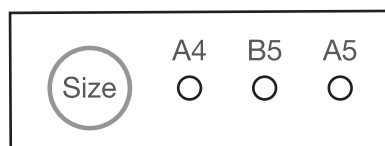
- *スピード調整機能
- *テスト折り機能
- *スタート/ストップ機能
- *手差しフィーダー機能

1 電源を入れます

主電源スイッチをONにしてください。

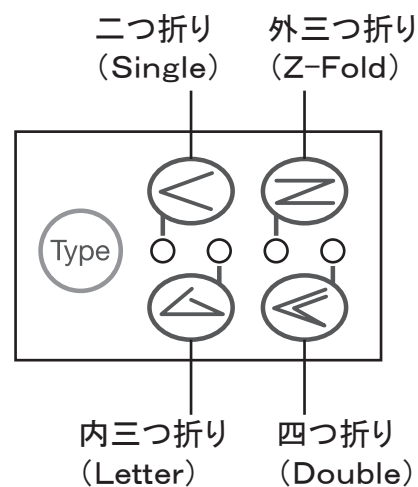


2 用紙サイズの設定をします



Sizeボタンを押して、「A4、B5、A5」の用紙サイズを選択してください。

3 折り方の設定をします

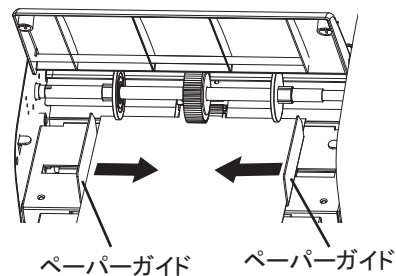


Typeボタンを押して、「二つ折り、内三つ折り、外三つ折り、四つ折り」の折り方を選択してください。

操作の仕方

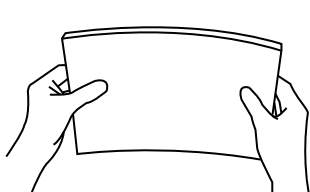
4 用紙をセットします

- ① 安全カバーを開け、給紙テーブルが下がったら、用紙をよくさばいてから給紙テーブルにセットしてください。
- ② 紙がずれないように、ペーパーガイドが用紙の側面に密着するように当ててください。
- ③ 安全カバーを閉め、給紙トレーが上がるのを確認してください。

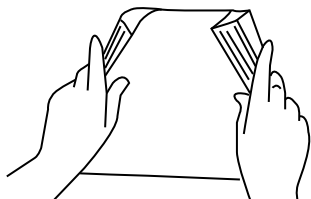


紙のさばき方

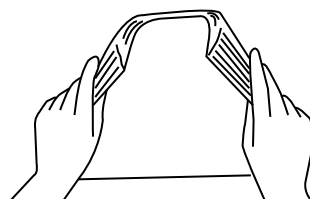
スリップや重送などを防ぐため、用紙を折る前に必ず「紙さばき」を行ってください。



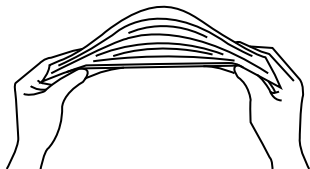
- ① 用紙を重ねて持ちます。



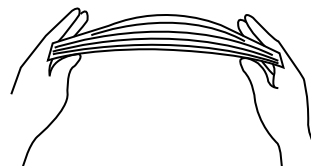
- ② 両側から用紙を内側に曲げ、用紙の広がった部分を人差し指で押えます。



- ③ 人差し指で押えたまま、親指で内側の用紙を押えます。



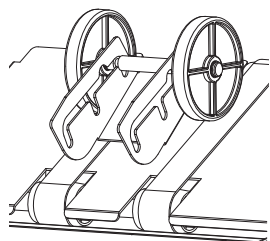
- ④ 人差し指・親指で用紙を押えたまま用紙を立てると、上の画像のように用紙と用紙の間にすき間ができ、空気が入り、用紙がさばけます。



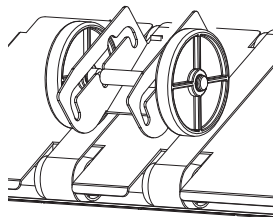
- ⑤ そのまま落して用紙を揃えます。逆側も同じように①～⑤の順でさばいて下さい。

排紙ローラー位置調整

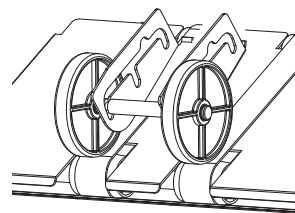
排紙ローラーを折り方に合った位置に移動して下さい。



四つ折りの場合は、排紙ローラーを奥に移動します。



外三つ折り・内三つ折りの場合は、排紙ローラーを真ん中に移動します。



二つ折りの場合は、排紙ローラーを手前に移動します。

操作の仕方

5 ストッパーを調整します

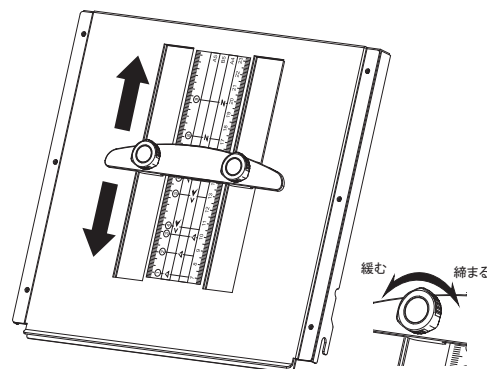
操作パネルの表示された折り位置に、折り位置調整ストッパーを調整してください。

例: A5サイズの外三つ折りを選択すると

Z-Fold
U-6 D-C

U-6=第一紙折りストッパーを6の位置に調整
D-C=第二紙折りストッパーをCの位置に調整

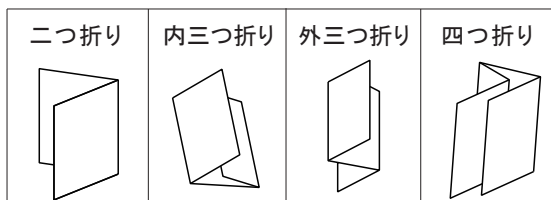
U⇒第一紙折りテーブル
D⇒第二紙折りテーブル



ストッパーの調整方

折り位置調整ダイヤルをゆるめてスライドさせ、パネルの表示された場所の折り位置目盛に合わせ締めます。

折り方の種類と折り位置


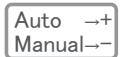




テーブル	第一紙折りテーブル			第二紙折りテーブル		
用紙 折り方	A4	B5	A5	A4	B5	A5
	寸法記号	寸法記号	寸法記号	寸法記号	寸法記号	寸法記号
二つ折り ◁ (Single)	148.5 ⑦	128.5 ⑤	105 ④	- 第二紙折りテーブルを逆にして、本体に取り付けてください。 (第二紙折りテーブルに用紙を通さないため)		
内三つ折り △ (Letter)	99 ③	85.66 ②	70 ①	99 ⑥	85.66 ⑤	70 ③
外三つ折り Z (Z-Fold)	198 ⑨	171.32 ⑧	140 ⑥	99 ⑥	85.66 ⑤	70 ③
四つ折り ◀◀ (Double)	148.5 ⑦	128.5 ⑤	105 ④	74.25 ④	64.25 ③	52.5 ②

操作の仕方

6 カウンターを設定します



Step 1

 Setボタンを、ビープ音が3回鳴るまで押したままにして、パネルに  のような画面が表示されたら、AUTOかMANUALを選択してください。




- ※AUTOを選択したい場合は  ボタンを押します
- ※MANUALを選択したい場合は  ボタンを押します。





Step 2

パネルに  のような画面が点滅表示されたら、加算か減算を一つ選択してください。

- ※加算を選択したい場合は  ボタンを押します。
- ※減算を選択したい場合は  ボタンを押します。

Step 3

パネルに  のような画面が表示されたら、 や  ボタンを押して、カウントを設定します。

-  () ボタンを軽く押すと、数値は5ずつ増加(減少)
-  () ボタンを長押しすると、数値は速やかに増加(減少)

Step 4

 Enterボタンを押して、 のような画面が表示されたら、セット完了。

- ※ A+ = AUTO(自動)と加算
- ※ T:30 = トータル枚数 30枚

AUTO(自動):

折り枚数が設定数に達したら、機器は3秒間の休憩に入り、また自動的に紙折り再開します。

MANUAL(手動):

折り枚数が設定数に達したら、機器は停止します。再度紙折りしたい場合は、Startボタンを押します。

加算・減算:

紙折りを行っている最中、パネルに表示されたカウントが増加か減少の表示を選択すること。

【例:カウント設定30枚の場合】
加算30⇒1,2,3,.....,28,29,30
減算30⇒30,29,28,.....,3,2,1

連続折りモード:

カウントを0にすると、連続折りモードになります。


SUMCOUNT:

総計折った紙の枚数

待機モードでEnterを押すと、SUMCOUNTが表示されます。Enterをビープ音が3回鳴るまで押したままにしていたら、SUMCOUNTをリセットすることができます。

操作の仕方

7 紙折り開始します

 Start/Stopボタンを押して、紙折り開始します。






※事前のテスト折りをお奨めします。

テスト折り

 Testボタンを押して1回3枚のテスト折りします。

※テスト折りの用紙枚数はカウントに入りません。

スピード設定

 Speedボタンを、ピープ音が3回鳴るまで押したままにして、パネルに  のような画面が表示されたら、  ボタンを押して、スピードを設定します(上限は100)。設定完了、 Enterボタンを押します。

※紙折りを行っている最中は調整できません。
※紙質によって、スピードを調整してください。


スピード設定参考:


スピードは100まで設定可能ですが、下記の通り50～85の設定範囲を推奨します。

60g/m² 薄い(軽い)紙 → 低速 50～65

90g/m² 厚い(重い)紙 → 高速 70～85



スタート/ストップ機能

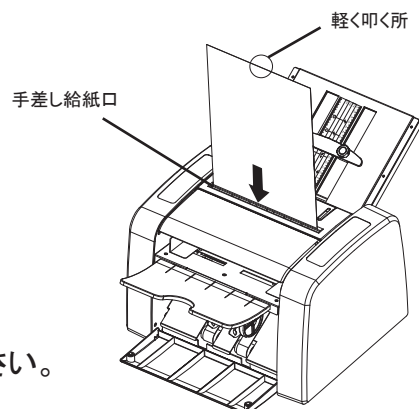
 Start/Stopボタンを押すと、紙折り開始します。

 Start/Stopボタンをもう一度押すと、紙折り停止します。

手差しフィーダー機能

※最大80g/m²*3枚までの重ね折り可能

用紙(3枚まで)を手差しフィーダーに入ると、給紙テーブルが下がります。パネルに  のような画面が表示されたら、 TopFeedボタンを押して、用紙の中央上部分を軽く叩いて給紙のサポートをしてください。



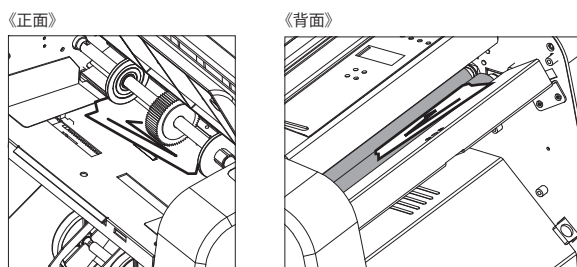
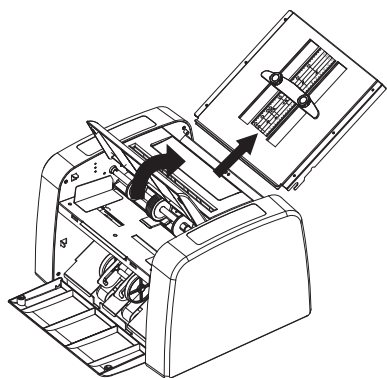
※手差しフィーダーモードから解除するには、 TopFeedボタンを、ピープ音が3回鳴るまで長押しする必要があります。(手差しモードのままだと、他のボタンが無効になります。)

エラー表示

紙詰まり

紙詰まりが発生した場合、アラームが鳴り出します。**JamPaper** のような画面が表示されます。

* 用紙が詰まったら、機器は自動停止します。



用紙が機械の中に詰まった場合は、必ず電源を切ってから、安全カバーを開けて、給紙テーブルを本体から取り外します。

本体内部に詰まっている紙や紙片などを、指で確認しながら取り除いてください。

エラー警告

エラー警告が出た場合、全てのボタンは無効になります。
エラーを解消してから、操作を続けてください。

Feeder Empty! 用紙切れ

⇒用紙を給紙テーブルにセットしてください。

Top Cover Open! 安全カバーが開いている

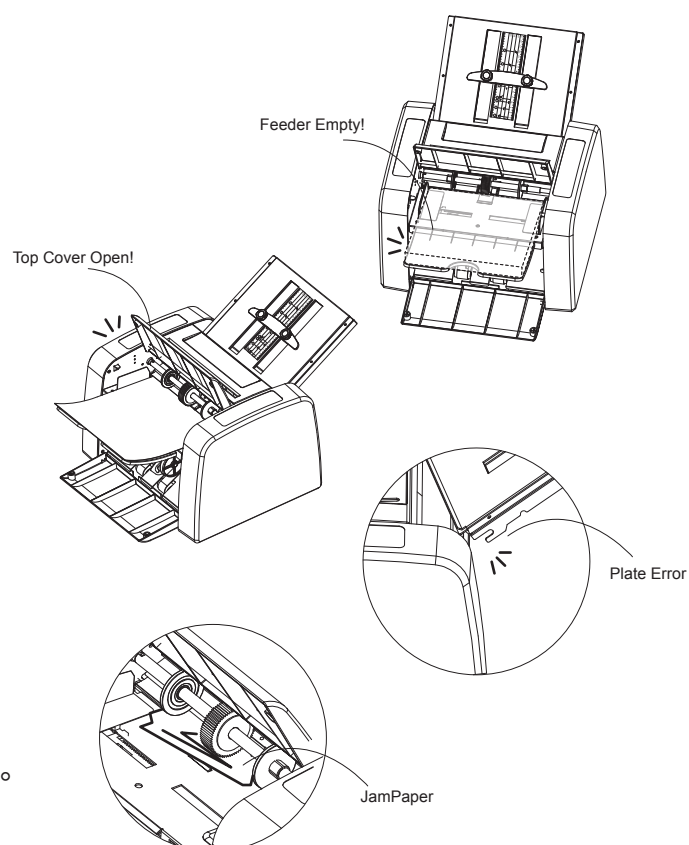
⇒安全カバーを正しく閉めてください。

Plate1 Error **Plate2 Error** 紙折りテーブルが外れている

⇒紙折りテーブルを確実ににはめ込んでください。

JamPaper 紙詰まり

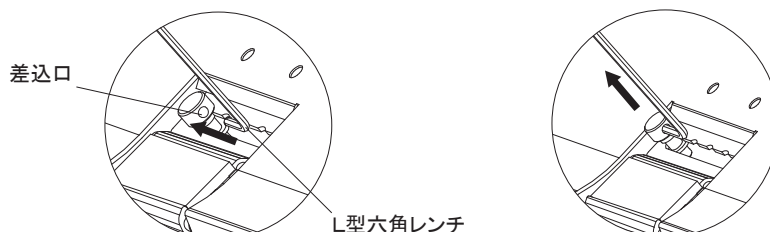
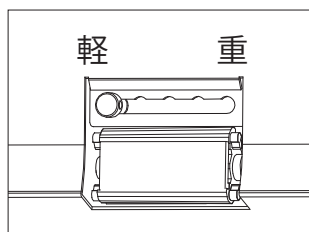
⇒詰まっている紙や紙片などを取り除いてください。



パッド圧の微調整方法とローラーの清掃方法

パッド圧の微調整の方法

給紙ローラーキットを取り外してから調整をおこなってください。
(給紙ローラーキットの取り外し方は10ページに参照してください。)

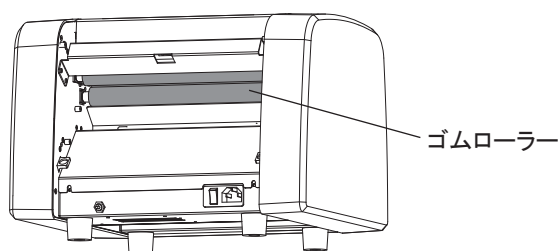
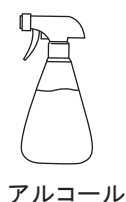
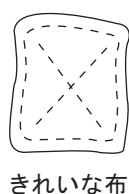
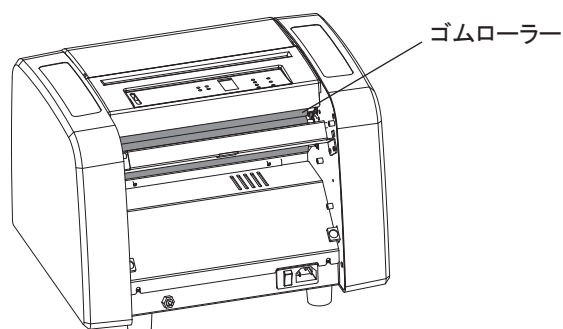


- ① パッドの押し圧は、軽い荷重(左)から重い荷重(右)の方に5段階調整できます。
- ② L型六角レンチを使用して、丸型金具の側面にある穴に差し込みます。
- ③ 丸型金具を引き上げるように、望む位置に移動させます。

ローラーの清掃方法

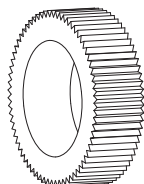
紙粉や印刷物のインクなどの汚れが付着すると、紙詰まりを起こす原因となります。
定期的にクリーニングをおこなってください。

- ① 電源プラグを抜いて、第一、第二給紙テーブルを取り外します。
- ② きれいな布にアルコールを含ませ、手でゴムローラーを回転させながら拭いて下さい。

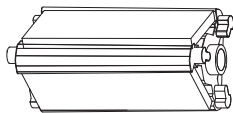


サプライ品と交換方法

サプライ品



給紙ゴム

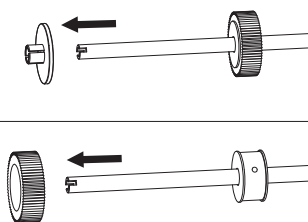
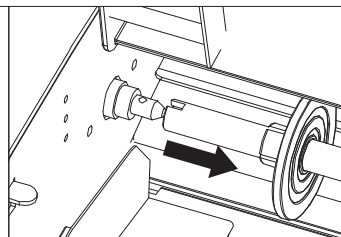


抑止板(パッド)

給紙ゴムの交換方法

給紙ゴムとパッドは消耗部品です。給紙ゴムやパッドが消耗して、給紙力が落ちてうまく給紙できなくなったら、新しい物と交換してください。

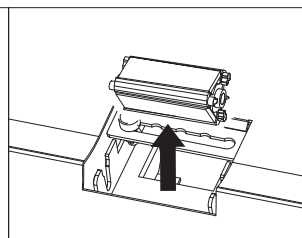
給紙ゴムを交換する場合には、電源を切って安全カバーを開けてから、給紙ローラーキットを図のように矢印方向に押し、本体の動力シャフトのジョイントから手前に外します。



給紙ローラーキットから補助ローラー・給紙ゴムを取り外し、新しい給紙ゴムに交換します。補助ローラーを用紙サイズに合わせ、用紙の内側約10mm位置に移動します。また、給紙ローラーキットを再び取り付ける場合には、ジョイントへ確実に結合します。

パッドの交換方法

パッドは3面使えます。パッドの交換や、面を変える場合には、給紙ローラーキットを取り外してから、パッドを図のように持ち上げて交換してください。



故障かなと思ったら

故障かなと思ったら修理を依頼する前に、まず下記の内容をご確認ください。

- 用紙の紙質、サイズ、重さ、印刷インクの状態などによって、正しく折ることができない場合があります。また、折り線やシワのある用紙なども正しく折ることができません。
- 下の表に従って対処を行っても、症状が軽減されない場合や解決できない場合は、電源を切ってからお買い上げ店にご相談ください。

状 況	確認内容	対処方法
ボタンを押してもモーターが動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグが差し込まれていますか？ ●エラー表示されていませんか？ ●手差しフィーダーを使用した直後ですか？ ●ブレーカーが落ちていませんか？ (落ちると赤いボタンが飛び出します) 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒ ●電源プラグを差し込んでください。 ⇒ ●エラー表示された問題を排除してください。 ⇒ ●Topfeedボタンをビープ音が3回鳴るまで長押しして、手差しモードを解除してください。 ⇒ ●ブレーカーボタンを押して、1分間ぐらい待ってから再起動してみてください。
用紙が数枚重なって給紙する	<ul style="list-style-type: none"> ●印刷インクや静電気などで用紙がくっついていませんか？ ●カタログなどの用紙ですか？ ●パッド圧を重い方向に調整していませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒ ●用紙をよく裁いてから給紙テーブルにセットしてください。 ⇒ ●光沢紙を折る場合は、枚数を少なくしてください。 ⇒ ●パッド圧を軽くする方向(左)に調整してください。
用紙が詰まる	<ul style="list-style-type: none"> ●2~3枚を一緒に給紙していませんか？ ●内部に紙片や異物が詰まっていますか？ ●ローラーが汚れていませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒ ●上と同じ対策をおこなってください。 ⇒ ●電源を切って、紙折りテーブル内、ローラー内、本体内部のテーブル付近を探して、異物を取り除いてください。 ⇒ ●ローラーを清掃してください。
給紙スリップ	<ul style="list-style-type: none"> ●カタログなどの用紙ですか？ ●給紙テーブルに120枚以上の用紙をセットしていませんか？ ●パッド圧を軽い方向に調整していませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒ ●光沢紙を折る場合は、枚数を少なくしてください。 ⇒ ●用紙の枚数を減らして再セットしてください。 ⇒ ●パッド圧を重くする方向(右)に調整してください。
シワになる	<ul style="list-style-type: none"> ●内部に紙片や異物がつまっていますか？ ●用紙のセットが不揃いになっていませんか？ ●ローラーが汚れていませんか？ ●パッドが摩耗していませんか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒ ●電源を切って、異物を取り除いてください。 ⇒ ●用紙をよく揃えて、ペーパーガイドに正確に合わせてセットしてください。 ⇒ ●ローラーを清掃してください。 ⇒ ●パッドを交換してください。
手差しフィーダーが動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ●用紙を入れたら、給紙テーブルが下がっていますか？ ●Topfeedボタンを押した後、用紙上方を軽く叩いてみましたか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ⇒ ●給紙テーブルが下がってから、Topfeedボタンを押してください ⇒ ●Topfeedボタンを押したら、用紙上方を軽く叩いて、給紙のサポートをしてみてください。



メモ



メモ

ニッポ^oー株式会社

〒103-0023

東京都中央区日本橋本町4-8-14 東京建物第3室町ビル

ニッポ^oー株式会社ホームページ

<http://www.techno7.co.jp/nippo/>

お客様センター  0120-977-210

受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00

土・日・祝祭日・会社特別休日を除く

- 本機についてのお問合せ、修理などの際は、お買い上げの販売店、もしくは、お客様センター、最寄りの営業所までご連絡ください。